

●さとうきび収穫後の管理●

さとうきびを収穫した後は、株出栽培をしますか？
 それとも、畑を更新して春植や夏植をしますか？
 事前に決めて、早めに作業をしましょう！



何のための作業？

立派なさとうきびを育てるためだよ。
 管理の一つ一つに意味があるんだ。



どんな効果があるの？

株出栽培
 の場合(一例)

収穫

株ぞろえ
 根切り

肥料・農薬
 散布①

畝間の心土破碎

中耕

農薬散布②
 (土壌処理型除草剤)

…以下省略…

「株ぞろえ」

➤ バラバラに芽が出ると茎数や一茎重が減るので、茎の切断位置をそろえて萌芽そろいを良くします。
 (地表から5cm下)

「根切り」

➤ 古い根を切ることで、新しい根の発生を促します。

「心土破碎」(しんどはさい)

➤ 水はけを改善し、根の張りを良くします。

「中耕」(ちゅうこう)

➤ 固くなった畝間を耕すことで、水はけが良くなります。また、土が碎かれ軟らかくなり、小型トラクタ(ブルトラ)での作業がしやすくなります。

「堆肥散布」「緑肥播種」

➤ 有機物を投入し土づくりをすると、肥料分が供給されるなど地力が増します。

● 詳しくは「さとうきび栽培暦」がありますので、関係機関(普及課、JA、製糖工場)にご連絡下さい。

春植・夏植
 に更新する場合(一例)

収穫

耕起
 (プラウ、プラソイラー)

碎土①

植付(春植の場合)

堆肥散布または
 緑肥播種
 (夏植の場合)

碎土②(すき込み)

植付(夏植の場合)

農薬散布
 (土壌処理型除草剤)

…以下省略…